

## 公民館通信



2022年  
4・5月号  
No.301

## たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003  
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491



誕生日は3・11。  
大震災の報道に「豊かさとは、明日の生活に不安を感じないこと」と実感されたそうです。



作家 中澤 日菜子さん

## ひと♥ネットワーク

うつぶん  
鬱憤を小説で晴らす



著書「ニュータウンクロニクル」は、多摩ニュータウンを舞台にした10年ごとの短編集だ。初めの章は1971年。多摩市市制施行直前の夏から始まる物語には、枇杷団地、中山団地が登場。近隣市は稲峰市、松田市とあり、多摩市民としては、あの団地に違いないと見当をつけたくなる。主人公は、人ではなく町。ニュータウン誕生から50年間の暮らしやできごとが物語に散らされ、最後の章「新しい町2021」では、ニュータウン再生への希望が語られて終わる。けれど、読み進めるうち登場人物に感情移入。心が揺さぶられ、ページをめくる手が焦りだす。あの人はどうなった？もう出てこないの？と勝手にやきもきする。伏線は「パンドラ」(?)。そんな同書をテーマ本とした永山公民館主催の「たまのまちゼミ」が昨年11月に行われた。多摩人の営み、暮らしの価値を考える「まち」の学び場とあり、メンバーの話はさまざま。実にニュータウンらしい。聞き入る講師の中澤さん。柔和な笑顔の奥の真剣な眼差しが、印象的だった。

実は30年前にも、公民館通信No.49の一面にご登場いただいた。当時は就職1年目。学生時代に「不等辺さんかく劇団」を旗揚げし、書いた戯曲を提供。今も活躍する同劇団の作・演出を務めていた。「将来は作家志望」と語っていた中澤さんだが、「戯曲だけではお金にならない」と小説に本格的に挑戦し始めたのが、10年前。翌年、小説現代長編新人賞を受賞。さらに翌年、「お父さんと伊藤さん」として単行本が出版され、そのまた翌年、上野樹里主演で映画化された。4作目の「PTAグランパ」も松平健主演でTV放映されている。

鬱憤を小説で晴らすとは、「小説脳」は一人称か三人称。登場人物が見たことしか書けないが、やりたい放題、どこへでも行ける。「芝居脳」は神様視線。シーンも時間も自由に変えられるが、芝居にできる事しか書けない。だから、「芝居や映画にできない鬱憤を小説で晴らす」と笑う。4歳で最初の小説「恐怖の殺人事件」を書いてから、ずっと健在な小説脳。次はどんな物語が創り出されるのだろうか。

## 今年度多摩市公民館ではこのような事業を行う予定です！

## 永山公民館

「つどう・まなぶ・むすぶ」  
駅前公民館にどうぞお越し  
ください！



## 学校・家庭教育支援事業

## 子育て支援講座

子育ての悩みを共有できる場作り  
として継続した学びの機会を設け、  
さらには親同士の交流へとつながる  
ような場を提供していきます。



## 学校や地域と連携した事業

公民館施設を活用したりイベントなどの場を通じて児童・生徒の学習成果を紹介するなど、地域に子どもたちの様子を伝えていきます。

## 子育てつどいの広場「ぴーかぶー」(原則第2・4木曜日)

## 保育室開放デー(原則第3月曜日)

館内の保育室を開放し、子育てに関する情報提供や、乳幼児期の親子が気軽に交流できる場を提供します。



## 小学生対象科学等体験講座

夏休みや春休みに子どもたちや親子が参加できるような体験型講座を実施し、世代を越えた交流や視野を広めるきっかけを作ります。

## 家庭教育学級・講座

保護者に対して子育ての知識とともに、前向きに家庭教育に向き合えるような場を作り、家庭の教育力向上を目指していきます。

## 職場体験の受け入れ

## 市民・時事問題講座事業

## 障がい者青年教室

障がいを持つ青年を対象に、余暇活動や仲間作りを支援します。(ボランティア随時募集！)

## 時事・現代課題講座

その時々のテーマをタイムリーに捉え、さまざまな角度からの学習で知識を深めていきます。

## 市民講座

生活に身近なテーマを取り上げ、地域の豊かな生活に結び付けていく講座を開催していきます。



## 地域・生活課題を考える事業

## ベルブゼミ

地域課題を掘り起こし、継続した学習から、地域づくりや自分自身の生き方を考えるきっかけを作ります。

## 市民企画講座(通年)

市民の自主的な学習活動の振興を図るため、さまざまな学習の場を提供します(内容は団体が企画します)。



## 地域課題講座

地域の生活課題を取り上げ、地域の方々と一緒に考える講座を、地域の拠点であるコミュニティーセンター等と共催していきます。



## 地域活性化事業

## ふるさと多摩映画上映会

こいのぼり(4月下旬~5月上旬)

永山フェスティバル(9月23日~25日予定)

クリスマスイルミネーション など

さまざまな取り組みを通して地域を盛り上げます。



ボッチャ体験会



イルミネーション

※過去の取組の様子

## 市民文化活動支援事業

市民が主体となって、出演・企画運営をする催しを、公民館が支援することで、気軽に音楽や映像文化などに触れる機会を作ります。

## サロンライトコンサート

(6月~3月の第2土曜日)

## TAMA映画フォーラム

☆第32回映画祭は11月12日~11月27日(予定)



## 情報発信事業

## 公民館通信「たのしいまち」の発行と広報等情報提供

永山公民館・関戸公民館2館の講座や各種情報を掲載した通信を年に6回発行します。市民ボランティアの編集委員とともに編集作業を行っています。また広報等でも事業の案内や募集、実施した講座の報告などを行います。

市民編集委員のお仲間募集中・・・公民館通信「たのしいまち」は、市民ボランティアと一緒に作っています。



# 関戸公民館



地域・生活課題を考える事業をはじめ、コンサート、演劇、地域イベントとのコラボレーションなどを計画しています。今年度はロビーの工事も終わるため、リニューアル後のロビーも活用します。

## 地域・生活課題を考える事業

### 地域貢献講座

地域課題を掘り起し、解決していく手法を学び、地域に根ざした活動につなげていくことをめざします。

### 第1回VITAふれあいまつり (第16回地域ふれあいフォーラム TAMA)

8月7日(日)開催予定。グループ・団体の交流、ふれあいで、大人も子どもも参加する新たな地域活動のきっかけとする広場。



地域ふれあいフォーラム

### 市民企画講座(通年)

市民の自主的な学習活動の振興を図るため、さまざまな学習の場を提供します(内容は団体が企画します)。

### 地域課題講座

地域の生活課題を取り上げ、地域の方々と一緒に考える講座をコミュニティセンターと共催。

## 市民・時事問題講座

### 社会時事問題講座「関戸地球大学院」(秋期)

環境、貧困、経済・資源等の国際的な課題や、地域で起きていることなどから社会とどう関わっていくかを考えます。近隣の大学(大妻女子大学、恵泉女学園大学、多摩大学、東京医療学院大学、国土館大学、桜美林大学)との共催により開催。

### 市民講座 スマホ教室(入門編)・スマホ相談会

日常生活を豊かにするために、スマホ操作や活用の初歩の初歩を学びます。また、わからないことを個別に相談できる機会を設けます。

### 現代課題講座

時事問題として環境や自殺対策などを広い視野で取り上げます。



茶道教室

### 郷土史講座

多摩の歴史をたどり、現地見学などで郷土についての知識を深めます。秋に開催。

### 伝承文化教室

伝承文化として茶華道などにふれる機会を設けます。

関戸公民館は令和3年12月から令和4年7月(予定)まで改修工事を行っています。期間中は大会議室、ギャラリーなどが使用できなくなります。詳細は市公式HP等をご覧ください。

## 地域活性化事業

せいせき桜まつり(4月)※ せいせき朝顔市(7月)  
関連イベント ※令和4年度桜まつりは中止



ヴィータコミュニティー外観

聖蹟桜ヶ丘駅周辺でのイベントとのコラボレーションで、にぎわいを作ります。さくら寄席や、7階ロビーでのピアノ演奏や合唱等のロビーコンサートを開催します。

## 学校と家庭の教育支援

### 保育室開放デー(第1・第3水曜日)

館内の保育室を開放し、乳幼児期の親子が気軽に交流できる場を提供します。

### 子育て安心講座

思春期の子どもたちの成長にかかる課題などを考えます。

### 薬物乱用防止講座

危険な薬物から身を守ることを、中学生に伝えていきます。

一般の方にも公開予定。

### 職場体験の受入れ

市内中学校の「職場体験」を受け入れ、地域とのかかわりを学び、将来の職業につながるよう支援をします。

## 市民文化活動支援

### 多摩演劇フェスティバル・たまには芝居

シリアス、喜劇、アクションなど7つの劇団のカラーをお楽しみください。

### ヴィータマンズリーコンサート

様々なジャンルのコンサートを定期的に行います。7月までは工事のためお休み。

### What's Jazz

本格的なジャズライブをお届けします。



## たま学びテラス

日野市と多摩市の連携事業として令和5年度まで、ICTを活用し、市民交流や大学連携を進めます。

## マンガを描くのが好きな子あつまれ！ 「こども漫画講座」に参加してみた！

2022年3月28日(月)ベルブ永山講座室にて

えっ、プロの漫画家が教えて下さる？ 何という、夢のような講座だろう。講師はやすはらじゅん先生。「真夏の夜のラビリンス」など、お目目ぱっちりの、憧れのザ・少女マンガ家といった可愛い作品を描かれる漫画家。参加者は小中学生10人ほど。

「まずは見本を書き写す作業を」。用具の説明から始まる。鉛筆、消しゴム。ペン先は、Gペンはこう、丸ペンはこういう線が書けます。インクは乾きやすいからぜひこれを。用紙はこれ。定規はクルッと反対向けて使います。プロの言葉がスルスル耳に入ってくる。

「では、実際に描いて行きます。描いている間は集中しますので」と言うが早いかな、慣れた手つきでサッサッサ〜と、鉛筆で人物の下書き、ペン入れ、背景、効果線を放射状に書き込み、中心にセリフを貼り、筆ペンでベタ塗り、消しゴムかけ、スクリーントーン(※)貼り、ホワイトで訂正。たちまちひとコマ、出来上がってしまった。2つの効果線を重ねて描く手法が素晴らしい。スクリーントーンの中から合うものを選び、形に合わせる技術。なんだか魔法でも見ているようだ。(※さまざまな模様などが印刷された粘着シート)

子どもたちも皆、興味津々で、食い入るように先生の手元をガン見。全集中している先生の代わりに、今

何をしているかを説明して下さる、助手の先生。「さて、これを皆さんにもやってもらいます。わからなかったら聞いてね。ええ？ いきなり？ でも意外と子どもたちは、見よう見まねですぐに取りかかる。中には用具にも詳しい、描き慣れてる子どもも…もしかして、既に連載描いてるんじゃないかしら。

だってこれ、いざやってみたら難しいこと！ ああ、同じようになんか描けない。効果線が滲む。瞳の星が可愛くない。「全く同じに描かなくても、好きなように顔も洋服も変えていいからね。最後ホワイトでいくらでも修正できるから」。安心した。だって髪の毛、描けば描くほど、どんどん天使の輪から遠ざかって行くんだもの。(泣)

子どもによって進行速度も違うので、用具を手際よく回しながら、全員に目を配る先生。最後は、みんなの作品をその場でコピー。製本した立派な作品集が配られた。数々のスクリーントーンや、描き方のコツが書かれた冊子、用紙などもお土産にいただいた。(原画！嬉しい♪)使ったペン軸、ペン先もお持ち帰り。わあ！これはもう、家で描くしかない！！

子どもたちも、キラキラした目で帰っていった。またいつか第2回目も。夢のようなステキな時間を、ありがとうございました。(笑)



## 文庫連会員がお勧めする本



### 『あそぼ』

制作：布の絵本サークルピエロ 2021年

布の絵本は最初、障がいのある子どもたちのために作られました。でも布の温かさ・やさしさは、すべての人の心を癒やします。

ご紹介する『あそぼ』は、ちょっと怖いけれど、ちょっとかわいいお友だち(?)が「あそぼ」と次々にやってきます。みんなで手を繋いで遊びましょ…最後にやってきたのは、疫病退散を願うあのキャラクターです。布の絵本サークルピエロは、年間2タイトル、各7冊を制作し、図書館へ納めています。布の絵本サークルピエロの作品以外にも、多摩市立図書館はたくさんの布の絵本を所蔵しています。気軽に手にとって楽しんでください。

多摩市文庫連絡協議会 布の絵本サークルピエロ 寄神光代



### 『みどりのゆび』

モーリス・ドリュオン 作 安東次男 訳 岩波書店(岩波少年文庫)2002年

『みどりのゆび』に出会ったのは今から60年近く前になる。未だにあのときの感動を事ある毎に思い出す。ストーリーや語り手の声や表情は今も記憶に新しい。「みどりのゆび」は「みどりの親指」とも言われ、植物に生命を与える不思議な指だ。おはなしの少年「チト」はみどりの親指の持ち主。おとうさんは武器商人であった。そこでチトは何を考えたか。チトは一体、だれだったのだろうか。かわいいチトがあなたを待っています！

多摩市文庫連絡協議会 須藤桂子

ホームページでもさまざまな講座情報を発信しています！チェックしてみてください！

→<http://www.city.tama.lg.jp/0000003305.html>

日野市・多摩市 連携事業 たま学びテラス

## 今昔クエスト「まち歩き」 川崎街道の旧道で史跡を訪ねる

今回は、多摩市と日野市の連携事業「たま学びテラス」のシリーズで、日野市と多摩市の市民同士が聖蹟桜ヶ丘～高幡不動尊まで「川崎街道の旧道」を歩きながら、日野市の学芸員を講師に招き、街道沿いの史跡を訪ねました。

### 『まちクエスト』アプリで『まち歩き』

今昔クエスト「まち歩き」で、日野市と多摩市をつなぐ街道、川崎街道を歩いた。その旧道に沿って史跡を訪ねるイベント・・・だけでは終わらない。

「まちクエスト」アプリというのがあることをご存じだろうか。スマートフォンやタブレットを使った「位置情報」を用いてスポットを登録し、さらにそこに「クエスト」というクイズを埋め込むのである。

アプリを入れてそのスポットに近づくと、「クエスト」が表示される。

クエストを解いていくと・・・

3月9日(水)、多摩市・日野市・あきる野市から7人が参加。

聖蹟桜ヶ丘駅前からスタート。川崎街道を西へ向かって歩き、まずは「小野神社」へ。

ハートの形の窪みがある、ありがたい石が鎮座している。

すでに「まちクエスト」アプリを登録している参加者の方は、クエストを解いていく。めずらしい形のありがたい御石に、スマホで撮影する方も。

さらに歩を進め、多摩市と日野市の市境の辺りには、「落川遺跡」というのがある。

都営住宅の建築を進めたときに8世紀～10世紀とみられる500棟もの集落が発掘されたという。

川崎街道の旧道は、もともと田んぼに沿っていたこともあり、起伏があって、そしてうねうねと曲がっている。現在の街道から少し脇道へ入っていくようなルートで縫っていくと、「庚申塔」※にもバリエーションがあった。写真は、いくつかあった中で最も「豪華」なつくりの庚申塔だ。

日野市には、皆さんご存じのように「新選組」をはじめ「土方歳三」のゆかりのスポットもある。歴史を感じるスポットが諸所にあり、講師の金野(かねの)学芸員の解説もためになって、面白い！

最後は、高幡不動尊で土方歳三像に出会い、さらにそこでも歴史のお話を講師から伺い、解散。

※寿命を縮めないために江戸時代に大流行した民間信仰の碑

### クエスト作りは秋の開催に・・・

本来ならば、2月に2回、3月に2回、計4回の開催で、2回を「まち歩き」、その2回を「クエスト作りのワークショップ」となる予定であった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、4回のうちの3回が開催見合わせとなり、今回は「まち歩き」2回分の行程をコンパクトにまとめたコースとなった。

次回開催は秋の予定となるので、それまでの期間は、参加者のみなさんが自主的におさらいをしたり、お友達を誘ったりということが出来るための「秘策」を用意する予定だ。

問合せは、関戸公民館 電話 374-9711 まで

アプリのダウンロードは、

↓↓↓ 下のQRコードから行えます。



iPhone



Android





**編集後記**

☆TVの映像を見つめ平和を祈る毎日。百花繚乱の春に、大歓声のプロ野球開幕に、そして、おしゃべりし始めた初孫の成長に幸せを感じて、平穏な日々感謝する。

☆母が乳ガン再発。検査検査で、3月は2回、4月は3回帰省した。万札が飛ぶ。(1回は秀樹コンサート!!)5月は息子の結婚式と母の手術、私はいつまで大阪に?? 職を失って7ヶ月。そろそろ貯金も底をつき始めた。ピーンチ!

☆新年度の慌しさとともに桜の花びらが舞い散って春の終わりを告げる頃、ケヤキの新緑がまぶしい季節に。爽やかな生命力を感じる一年で最も好きな季節!

☆最近急須を買いました。ほうじ茶が美味しいです。夏場も冷たい飲み物ばかり飲まないよう心掛けてみます。

(月) (す) (楽) (ひ)

## 特別上映会

TAMA映画フォーラム実行委員会

つつんで、ひらいて

5月5日(祝・木)

- ①10:30~12:04
- ②13:05~14:39
- ③15:40~17:14
- ④18:15~19:49

装幀者・菊地信義と、  
本をつくる人々の  
ドキュメンタリー

<トーク>

14:45~15:20

ゲスト: 広瀬奈々子 監督

ブータン 山の教室

5月7日(土)

- ①10:30~12:20
- ②12:45~14:35
- ③15:45~17:35
- ④18:00~19:50

都会から来た若い先生と、  
村の人たちと子どもたちの  
心の交流を描いた感動作。

<トーク>

14:40~15:20

会場: ベルブホール(ベルブ永山5階)

詳細はチラシやHPをご覧ください。



## 保育室開放デー

公民館では、感染症対策を行いながら未就学児と保護者を対象に保育室を一般開放しています。出会いの場・交流の場としても自由にご利用下さい。5月・6月の開催日は以下の通りです。

【永山公民館】

5月16日(月) / 6月20日(月)

場所: 第1.2保育室(ベルブ永山4階)

時間: 10:00~16:00

※関戸公民館は改修工事のため実施しません。

たかいで  
 どかな日々が一変す  
 すかに  
 のろう  
 るい  
 きゅうよ平和であれ